

穴 (2001)

THE HOLE

AFTER THE HOLE [米]

メディア 映画

ジャンル ミステリー サスペンス ホラー

製作国 イギリス

色彩 Color

時間 102分

初公開日 2002/05/18

公開情報 コムストック

【キャッチコピー】

大切なものは中においてきた。

若葉の緑かおる春、イギリスのパブリック・スクールから、4人の生徒が忽然と姿を消した。

【解説】

オックスフォード大学在籍中のわずか18歳のときに書き上げたガイ・バートのデビュー小説を、「アメリカン・ビューティー」「ゴーストワールド」のソーラ・バーチ主演で映画化したミステリー・サスペンス。次第に明かされる〈穴〉での悪夢、そして衝撃の真実を巧みな構成で語る。音楽は「 π 」「レクイエム・フォー・ドリーム」で注目されたクリント・マンセル。

イギリスでも指折りの名門パブリック・スクール、プレイボーン学園。ここに通う4人の生徒が、ある日忽然と姿を消した。騒然となる警察とマスコミ。やがて、失踪から18日後、4人の生徒のうち一人、女子高校生リズだけが薄汚れ、憔悴しきった姿で発見される。リズに、そして3人のクラスメイトにいったい何が起こったのか？ 事故なのか、それとも犯罪か？ 真相解明とリズの精神的ダメージを癒すため犯罪精神科の女医フィリップパがカウンセリングを始める。やがて、リズはビデオカメラに向かって、悪夢の顛末を語り始める……。

まさに曲者少女ソーラ・バーチの独壇場。いわゆる“藪の中”的回想シーンで幾通りもの人格を見事に演じ分け、それぞれに十分な説得力を与えている。ミステリーとしてもショッカー映画としてもそこそこ楽しめるけれども、本作の魅力のほとんどは、やはりソーラ・バーチの演技に尽きるだろう。それにしてもソーラ・バーチのダメダメ少女ぶり、ますます磨きがかかってきた。

【クレジット】

監督	ニック・ハム	Nick Hamm	
製作	ジェレミー・ボルト	Jeremy Bolt	
	リサ・ブライアー	Lisa Bryer	
	ピッパ・クロス	Pippa Cross	
製作総指揮	アンドレア・カルダーウッド	Andrea Calderwood	
	フランソワ・イヴェルネル	Francois Ivernel	
原作	ガイ・バート	Guy Burt	(『体験のあと』集英社刊)
脚本	ベン・コート	Ben Court	
	キャロライン・イップ	Caroline Ip	
編集	ニーヴン・ハウイー	Niven Howie	
音楽	クリント・マンセル	Clint Mansell	
出演	ソーラ・バーチ	Thora Birch	リズ

デズモンド・ハリントン	Desmond Harrington	マイク
ダニエル・ブロックルバンク	Daniel Brocklebank	マーティン
ローレンス・フォックス	Laurence Fox	ジェフ
キーラ・ナイトレイ	Keira Knightley	フランキー
エンベス・デイヴィッツ	Embeth Davidtz	フィリッパ
スティーヴン・ウォディントン	Steven Waddington	
エマ・グリフィス・マリン	Emma Griffiths Malin	
ジェマ・クレイヴン	Gemma Craven	